

支えあいのまちづくり協議体（日本橋地域）実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「**支えあいのまちづくり協議体（第2層協議体）**」の令和8年度第1回目を、日本橋地域（はまる一む）で開催しました。

1. 実施日

令和8年5月 12 日（火）16:30～

2. 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関連機関、生活支援コーディネーター 計 10 名

3. 内容

- ・区新任職員の紹介
- ・高齢者福祉課からの事業案内および変更点の説明
- ・意見交換

- ① イベントについて
- ② 今後のスケジュールについて

●区新任職員の紹介

4月より高齢者福祉課高齢者活動支援係に着任した、服部係長および柴田氏より挨拶。

●高齢者福祉課からの事業案内および変更点の説明

・物忘れ予防検診は今年度より対象者が拡大され、前年度に受診しなかった未受診者も受診可能となった。

・徘徊高齢者探索システムについては、日常生活賠償補償（上限 3 億円）の追加や、GPS 端末を内蔵できる専用靴の購入助成などの支援事業が新設された。

・オートコールシステムは令和9年度の本格稼働を目指し、震度 5 弱以上の地震発生時に自動電話で安否確認を行う仕組み開発中。

●意見交換

①イベントについて

【開催日時】2026 年 10 月 20 日（火）14:00～15:30（13:30 集合）

・高齢者が参加しやすく、暗くなる前に帰宅できる午後の時間設定とする。

・会場は今回と同じ「はまる一む」を使用する。

【内容】映像や浜町エリアマップを見ながら、地域の歴史について新旧住民で語り合えるイベント

・以前作成した浜町の歴史映像を話題になりそうな施設ごとに大まかに区切り上映し、合間に説明

と歓談を挟む構成とする。また、小さなクイズなども挟み参加者同士の交流を促進する。

- ・昭和～現代の映像を流すことに加え、浜町エリアマップで該当箇所について案内することで中央区在住歴が浅い住民でも話に入れ、おしゃべりがしたい住民も会話をする時間が設けられる形を目指す。

- ・当日の写真の持ち込み、提供を呼びかけ参加者を巻き込んだ内容を目指す。

【タイトル】語ろう浜町（サブタイトル：今と昔の写真や映像を見ながら 語りましょう）

- ・イベント内容が分かりやすく、交流要素が含まれるものであるとわかるタイトル。

【協力者】地元の歴史に詳しい有識者に協力を打診する。

【広報】チラシを通じて、参加者自身が持つ昔の写真や映像の持ち込みを呼びかける。

【定員】15名程度（当日参加も柔軟に受け入れる）

②今後の取り組みについて

- ・7月末から8月頭にかけてチラシを作成・配布し、周知を開始する。

- ・図書館や江戸東京博物館などの資料、再開発時の記録映像の活用も検討する。

- ・エリアマップ内の各スポットにまつわるストーリー（浜町公園のプール、T-CAT 周辺の船上生活、箱崎の由来、浜町敬老館周辺など）を整理し、語り合える場を目指す。

4. 次回協議体：

令和8年9月15日（火）16:30～18:00 多世代交流スペース「はまるーむ」